

総合的シティプロモーション事業の目的は

総務部長／南島原市を知ってもらうことが目的である



吉田幸一郎 議員

議員 活用策が決定していない学校は、どのようなことを考えているのか。
市長 市内部の廃校跡地利活用検討委員会において検討を行っており、廃校になっている施設については、考え方を整理したところである。

今後は、これを基に地元の意見も伺いながら有効活用を図っていく。

議員 施政方針にあるが、旧白木野小学校はどのような活用をされるのか。

生涯学習課長 アートビ

議員 学校統廃合に伴い廃校跡地活用に積極的に取り組まれているが、これまでの効果は。

市長 現在、旧山の寺分校と旧山口小学校については、IT関連企業により有効に活用されている。地域おこし協力隊を配置している旧山口小学校や旧津波見小学校、南島原食堂を開設した旧塔ノ坂分校については、地元の方と共に様々な取り組みが進められており、地域活性化や交流人口の増加などの効果があったと思っている。

進めないといけないと思うが、市長の考えは。

市長 同じ考えである。

議員 有馬商業跡地の活用策は。

市長 サッカー場としても利用可能な多目的施設として整備、活用していくことが、現時点においては最良の選択であると判断している。

議員 基本構想を練る時は、スポーツ団体とも協議し構想を作るべきだ。

副市長 その様にする。

その他の質問

・総合的シティプロモーション事業について

・市内高校について



南島原食堂（総合的シティプロモーション事業）

合併特例債を使用できる期間内に全額の338億円を使う考えはないのか

市長／今後も必要な事業に活用していく



小嶋光明 議員

合併特例債について

議員 合併時、我々も勉強不足で、合併特例債を使える額の半分の169億円しか使わないように決めていた。市長には、この有利な合併特例債を使用できる期間内に、全額の338億円使うという考えは無いのか。

市長 今後にも必要な事業に合併特例債を活用していく。

総合庁舎建設について

議員 市長の考えでは有

家庁舎の耐震工事をして今のまま使用するという事であったが、合併特例債を使用して、有家庁舎の隣に土地があるので、そこを買収して、もう一つ庁舎を造るような土地の確保、また、20年後、30年後庁舎を建替えなければならぬ時が来る。その時に一極集中でしていかなければ、経費的に無駄が出る。それを考えたら駐車場が広くいるので、先に用地を確保するのはどうか。

市長 有家庁舎については、議会の皆さんの理解がいただけないと難しいと思うが、将来のことを考えると必要性は感じる。今後十分検討をしていきたい。

道路整備について

議員 道路については、困っている地区もあり、要望は次から次へと出てくる。だから特例債があるうちに道路の整備はした方がいいと思うが、市長の考えは。

市長 要望が沢山ある。出来るだけその要望に沿うようにしていかなければならないという事で、取組んでいる。

圃場整備について

議員 どうしても県営事業に当てはまらない場所が南島原市にはある。

このような地域は段々畑や棚田などで、小規模農家が多い。県営と同じ95%補助はできないのか。

市長 県営事業に該当せず、集約も出来ない所は耕作放棄地になっていく。この解消のために8割まで補助を引き上げて取り組みやすいようにしてきた、95%補助は今のところ考えていない。



有家庁舎と隣接する土地